

## 〈7月14セミナーのご案内〉

### 〈開催概要〉



配布資料「勝つ作戦を練る特許情報活用 HANDBOOK」では、5つの活用についての「考え方」について掲載しました。

1. 世界を見て!
2. 開発ノウハウを学んで
3. 追いついて
4. 追い越して
5. 差別化する

本セミナーでは、「勝つ作戦を練る」活動をみなさんが実践する際の課題を「特許情報を調べる」時短と捉えて、10日で調べる弊社独自メソッドをみなさんの社内でも利用いただけるように説明します。

**テーマ「CASE 世界戦に勝つ作戦を練る実践方法を、BYD、SONY などの開発ノウハウ等を特許検索ツールで調べる事例で学ぶ120分」** ※ HANDBOOK 掲載のテーマ名とは一部変えています。

|        |   |
|--------|---|
| 開催日時   | ;2023年7月14(金) 14:00~16:00                 |
| 申込期限   | ;6月30日(金)                                 |
| 料金(税込) | ;一人様 30,000円(税込)                          |
| 支払方法   | ;請求書払い ※ 振込期日は、2023年8月30日(金)、振込手数料はお客様の負担 |
| キャンセル  | ;キャンセルは不可(代理者の参加は可能)                      |
| 場所     | ;オンライン(ZOOM)方式                            |
| 主催者    | ;アナリスリサーチ社                                |

### 〈こんなことに困っている方〉

1. BYDなどの海外企業の開発内容を実際に調べたい方
2. 「特許を調べる」作業に時間や手間がかかり過ぎていて、大幅な時短をしたい方
3. 調べる経験がないけれど、作戦を練りたい方
4. 作戦を練る開発者を実践面でサポートしたい知財員の方
5. 優れた技術の保有企業を探したい、アライアンス担当者
6. 車両メーカーが欲しがると自動車部品を知りたい方

————— 問い合わせ先 —————  
アナリスリサーチ株式会社  
〒102-0074 東京都千代田区九段南一丁目5番6号  
松井紳造  
sales@pat-analysis.com

### 〈プログラム〉

**【見どころ】 3つのデモ** ※ 本内容は、以下3,4項の中で説明します。

- (1)「オクトバルブの開発競争」を調べるデモを通じて、中国、ドイツ、米国などの各社が開発する技術内容を把握する方法をご説明。
- (2)「音の ADAS」を開発する SONY を調べるデモを通じて、特徴的な機能を探し出して、当該機能を構成する技術要素と各要素別ノウハウを調べて学ぶ一連の方法をご説明。
- (3)CASE 各技術を調べた結果をご紹介した上で、どの技術が普及するのかを予測する方法や、追従して開発する際の作戦(例)をご説明。

**1. 特許情報の中の CASE 技術革新**

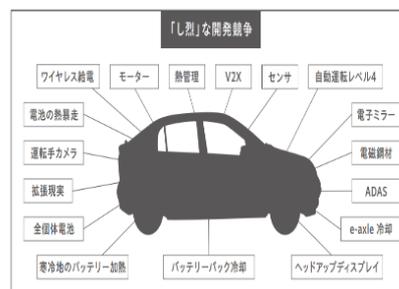
「特許情報を調べる」ことで分かる、CASE の「し烈」な開発競争を紹介します。特に、「技術を選ぶ開発戦略」を調べて、みなさんが技術を選ぶ作戦に役立つことを説明します。

**〈背景〉**

普及にはほど遠い BEV などの次世代車両に対して、開発せざるをえない技術が山ほどあって、すべての技術を全方位で開発できる企業がほぼない状態。技術を厳選して開発する先行開発企業の開発戦略とその差が「特許情報」から分かります。

**〈事例〉 各社の開発戦略**

企業がどの技術を選んで開発しているのかの開発戦略について特許情報で把握する事例として、複数の技術と複数の企業のマトリクス(右表)で開発有無と出願国別出願比率について調べた結果を紹介



|       | B社 | T社 | S社 |
|-------|----|----|----|
| 熱制御   | ○  | △  | —  |
| ADAS  | △  | —  | ○  |
| V2X運転 | △  | —  | ○  |
| センサー  | —  | △  | ○  |

**2. 課題=無駄作業**

従来の「特許を調べる」作業は、そもそも何に時間がかかるものなのか？ 開発上流で行う技術動向調査方法の課題について、本セミナー講師がオリンパス時代の開発経験と知財経験をベースに、考察した結果をご説明します。

**3. 弊社メソッド**

「し烈」な開発競争下にある中で、どのようにして勝てる技術を探せるのかについて、特に、開発する技術を選ぶために何を調べればよいのかの「特許を調べる」OUTPUT と各調べ方について「考え方」を説明します。

**4. デモ**

ツールオペレーション等を見てもらい、結果、10日で調べられることは何か？について説明します。

- ・ 異なる言語の特許を同時に検索できる特許検索ツールの紹介
- ・ 例えば、「熱制御」などの特定技術の開発企業を特定するツール操作デモ
- ・ 特許を読まずに、開発ノウハウを把握するツール活用術の紹介

**5. 10日ごとの作戦会議**

時短を実現した「特許を調べる」作業を繰り返しながら行う作戦会議で、「技術を選ぶ作戦を練る」活動を効果的に行う方法についてご説明します。

詳しくは、セミナーに参加してください。